

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名つくばみらい市立豊小学校

担当教諭名 石島 令子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

|                        |   |
|------------------------|---|
| 実施日時                   | 平成23年12月6日(火) 9:30 ~13:00   |
| 対象学年と人数                | 全校児童(1~6年生 119名)  |
| 派遣講師名と出身国              | ○オレリー・ノエル(フランス)<br>○新垣 マリア(ペルー)<br>○ハイ・レイエイ(中国)<br>○ボルッジゲン・ググーンビリッグ(モンゴル)   |
| 活動の内容                  | ○母国語の挨拶・自己紹介<br>○フランス・ペルー・中国・モンゴルの紹介(学校の様子、生活の様子、文化、民族衣装等)<br>○質問タイム<br>○児童による合唱<br>○講師の先生方とのふれあい給食   |
| 今回実施されたワールドキャラバンについて評価 | たくさんの資料や写真を用意していただき、より興味をもって交流することができた。低学年では、特にダンスを楽しむことができた。   |
| 生徒・保護者等参加者の感想          | ○ワールドキャラバンでフランスのことがよくわかりました。パソコンでフランスのことを調べているのでとても勉強になりました。フランスは日本と学校が違うことにびっくりしました。学校の勉強に生かしていこうと思いました。これからもっとフランスについてを調べ、将来フランスに行って世界遺産を見たりフランス料理を食べたりしたいです。(児童)<br>○先生から教えてもらったすもうはとても楽しかったです。また、モンゴルの衣装がとてもカラフルできれいでした。羊の丸焼きの話は衝撃的でした。また、来てください。(児童) |
| 先生の感想                  | ○写真などがあり、各国の様子がよくわかりました。特に、児童にも身近な食べ物の様子などは、とても興味をひいたようです。全体のバランスでは、各国の紹介の後に体験があったのでよかったです。講師の方によっては、説明する内容は多かったこともあったので、低学年に対しては、体験を多くするとさらに楽しめると感じました。ダンスや相撲体験などはとても良かったです。ありがとうございました。   |

